



荒木幸史「花宇宙」

永遠のコスモスの世界

10月12日【土】～11月12日【火】

登録有形文化財 旧朝吹山荘「睡鳩荘」

荒木幸史展

賛助出品 あらきゆみ展

コスモスは癒しの花

倅せてなんだろうか 愛するってなんだろうか

なんのために生まれてきたのだろう？

いま、こんなまっすぐな質問が、とても大切な時代であるように思います。

何かを自分に問いかけることは、心に花の種を蒔くことです。

思えば、私にとってコスモスを描くことは、たえずそうした質問を自分に、なげかけることだったように思います。

私にコスモスが問いかけてくれるのです。そして教えてくれるのです。

その感謝を絵のなかに表現することこそが、私のコスモスを描く意味なのです。

私の絵を見て、癒しの絵だといってくださいる人がいます。

それは、コスモスからのやさしいメッセージが、その方の持つ美しい心に届いたからだだと思います。

そして、ほんとうに大切な何かに自分で気づいたとき、

私たちは心から癒されるのではないのでしょうか。

コスモスたちのささやきにそって耳をすましてみてください。

荒木幸史のメッセージより

■ 永遠のコスモスの世界 荒木幸史展 (賛助出品あらきゆみ展)

会期 令和元年10月12日(土) - 11月12日(火)

時間 9:00 - 17:00 会期中無休

場所 軽井沢タリアセン 旧朝吹山荘「睡鳩荘」2階

料金 軽井沢タリアセン入園料 800円 + 睡鳩荘入館料 200円

企画・協力 Forest cosmos フォレストコスモス <http://www.cosmos.com/>

軽井沢タリアセン <http://www.karuizawataliesin.com>

長野県北佐久郡軽井沢町大字長倉 217 tel 0267-46-6161 fax 0267-45-3663



荒木幸史 1937年2月1日～2018年1月27日

長崎県諫早市生まれ。油彩・アクリル・パステルを手掛ける。コスモスをモチーフに華麗で繊細、さらに詩情豊かな作品を描き続け、「コスモス画家」として全国的に知られている。78年に福岡市の画廊での個展以来、東京・銀座の文藝春秋画廊をはじめ、全国各地で毎年個展を開催。90年、大阪・花の万博にコスモスファンタジーコーナーを設けられる。大阪府貝塚市文化会館コスモスシアターの緞帳(どんちょう)やコスモスプロムナードの陶版画など幅広い制作活動を重ね、文部省(現文部科学省)刊「文部時報」の表紙絵や企業カレンダーにも起用される。96年、諫早市白木峰高原の「コスモス花宇宙館」2Fに荒木幸史コスモスミュージアムが開設された。2000年、福岡市美術館特別展示室で個展開催。02年パリの「ギャラリグランパリ」で初の海外個展開催。2008年、大丸ミュージアム東京にて35周年記念展。2010年秋、大丸松坂屋東京・大阪京阪・熊本鶴屋にて特撰展開催。以降、精力的に全国各地にて2017年迄作品展を開催。ボザール展奨励賞、日仏ベストアーティスト賞、ル・サロン展入選ほか。[日本美術会会員、日本美術家連盟会員]



賛助出品 あらきゆみ

この絵のタイトルは果てしない海への想いです。広くとても大きな心の海に永遠に生き続けるコスモス。父、荒木幸史とともにコスモスを描かせていただき感謝してやみません。ありがとうございます荒木幸史先生、貴方は私の誇りです。

